

愛宕山用地施設配置案の 住民説明会開催



米軍再編に関連した施設の用地として買い取りを考えている愛宕山用地の施設配置案について、9月25日から27日の3日間、岩国市内5か所で住民説明会を行いました。



Contents

住民説明会	P2
防衛白書説明	P3
防衛問題セミナー	P4・5
防衛講話／防衛講義	
自衛隊の活動	P6
セーフティリーフィング	
／中国地区危機管理連絡会同	P7
駐留軍従業員永年勤続表彰	P8
感謝状の贈呈	P9
自衛隊記念行事	P10・11
川下防災備蓄センター運用開始	P12
イベント情報	

編集・発行
中国四国防衛局
〒730-0012
広島県広島市中区上八丁堀6-30
Tel082-223-7109

住民説明会

貴重なご意見に感謝

9月25日(土)から27日(月)の3日間、岩国市内5か所(①愛宕供用会館、②牛野谷供用会館、③平田住民ホール、④川下小学校、⑤岩国市民会館)で開催された住民説明会には、福田岩国市長にオブザーバーとして同席していただくとともに、約1000人の市民の方々に参加していただきました。

冒頭、辰己局長から、愛宕山用地に家族住宅270戸程度を整備すること、また、野球場、400mトラック等の運動施設を整備し、日米友好親善を目的に住民の皆様にもご利用いただけるようにすることなどについて説明しました。

市民の方々からは、高校野球の公式戦のできる野球場など運動施設の規模や地域振興策についての要望が寄せられる一方、愛宕山には米軍施設を作ってもらいたくないなどの質問が寄せられました。市民の方々のご質問には丁寧に回答し理解を求めました。

福田市長は「皆様方の声を拝聴しながら、今後愛宕山の配置計画の市としての方針を固めてまいります」と旨述べられました。

当局としても、引き続き、市民の方々の理解が得られるよう努めてまいります。



9月25日 平田住民ホール



9月26日 川下小学校講堂



9月27日 岩国市民会館大ホール



9月25日 愛宕供用会館



9月25日 牛野谷供用会館



防衛白書説明

防衛白書はわが国防衛の基本について国民の理解を深めるため、毎年刊行して

るものです。平成22年版で36回目になります。

防衛白書の内容は防衛省ホームページからご覧になれます。

[URL]
<http://www.mod.go.jp/>

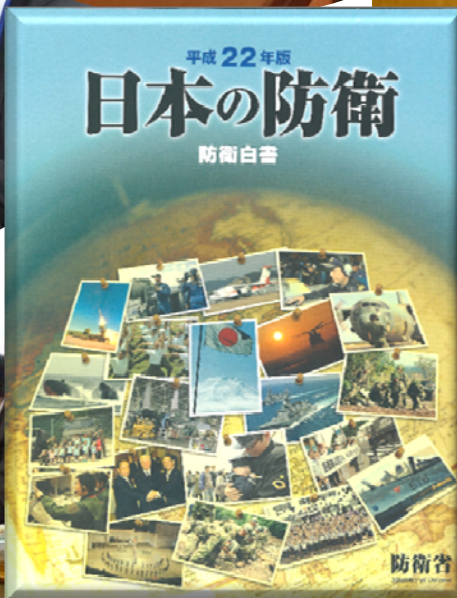


島根県
溝口知事

広島県
湯崎知事



岡山県
石井知事



高知県
尾崎知事



徳島県
飯泉知事



香川県
浜田知事

国の防衛には国民のご理解とご支援が不可欠です

中国四国防衛局は、中国四国地方9県の地方協力本部及び部隊と連携し、9月下旬から12月上旬の間、管内の222の全自治体等の代表に防衛白書の内容について説明を行いました。

平成22年版は第I部として『わが国を取り巻く安全保障環境』、第II部は『わが国の防衛政策の基本と防衛力整備』、第III部は『わが国の防衛に関する諸施策』の三部構成となっており、文書だけでなく写真や図表を数多く使用、トピックスとなる事項についてコラムで詳しく説明、第一線で活躍する隊員の声に加え自衛隊と関係の深い部外の方の声をコラムに掲載するなど、一般の方にも容易に理解していただけるわかりやすい白書となっています。

呉市 大和ミュージアムで開催

防衛問題セミナー



講話を行う辰己局長（左）と中畑1等海佐（右）

「海賊対処」への取り組みをテーマに

10月25日、広島県呉市の大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）で、「ソマリア沖・アデン湾における海賊対処」をテーマに第14回防衛問題セミナーを開催しました。今回は、辰己中国四国防衛局長と、平成21年11月から約4ヶ月間、第3次派遣海賊対処水上部隊の指揮官を努めた中畑1等海佐（現・統合幕僚監部指揮通信システム運用課長）が講師を務めました。

当日は、平日にもかかわらず市民ら約180名が参加する盛況なセミナーとなり、参加者は、講師のスライドを交えた、時には笑いを誘う説明に熱心に耳を傾けていました。

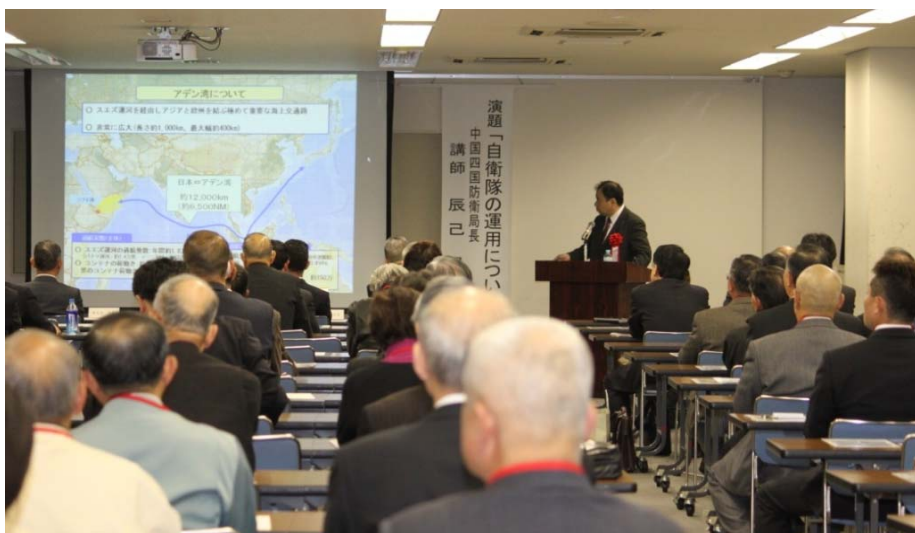


防衛講話（岡山地方協力本部）

「自衛隊の運用について」

11月18日、岡山地方協力本部からの依頼を受け、岡山第2合同庁舎供用会議室において「自衛隊の運用について」をテーマに辰己局長が防衛講話を実施しました。講話には岡山県内の防衛協力諸団体の会員等約90名が参加しました。

辰己局長は前職（防衛省運用企画局事態対処課長）の経験をもとに、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処や弾道ミサイル防衛、自衛隊の災害派遣などについて説明。参加者の国防への関心は非常に高く、北朝鮮の弾道ミサイルへの対処、自衛隊の国内外での活動などに皆さん熱心に聴講していました。



講話を行う辰己局長

防衛講義（広島経済大学）

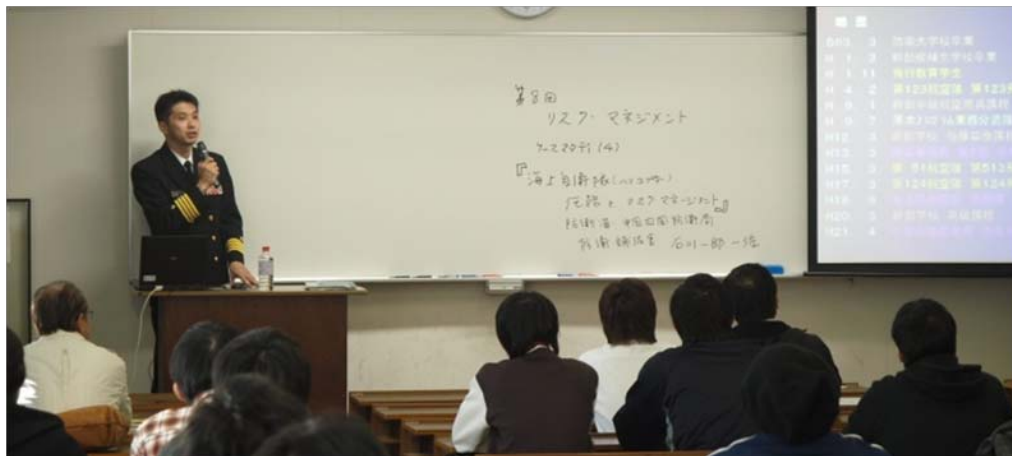
「海上自衛隊救難部隊任務とリスクマネジメント」

11月19日、広島県安佐南区の広島経済大学教授・川村健一教授教室において、石川防衛補佐官が「海上自衛隊ヘリコプター救難部隊におけるリスクマネジメント」と題して約80名の学生に講義を行いました。

川村教授は、自衛隊の航空部隊におけるリスクマネジメントが将来ビジネス界に身を置くであろう学生にとって、その本質的な部分が必ずや役に立つものと考え、今回、当局防衛補佐官を招へいたものです。

講義は、防衛補佐官から実際の航空機事故を例に挙げながら「人は間違ふ、機械は壊れる」として部隊における「安全確保」への取組を説明。学生もヘリコプターパイロットである防衛補佐官から現場の生の声を聞き、リスクの回避や低減の方法などについて活発に質問するなど、打ち解けた雰囲気の中で行われました。

最後に、技術の進歩により「機械が壊れる」リスクは格段に低減。他方、「人間の間違い」は根絶は不可能で機械による修正にも限界。したがって、今後とも「飛行安全」の確保はヒューマンエラーとの闘いが主となるとして講義を終えました。



講義を行う石川防衛補佐官

自衛隊の活動

パキスタンへの国際緊急援助

2010年7月末に発生したパキスタン大洪水被害に対し、8月20日に防衛大臣から国際緊急援助隊派遣法に基づく派遣命令が自衛隊部隊に出されたことを受け、「パキスタン国際緊急航空援助隊」を輸送するため、海上自衛隊呉基地を母港とする輸送艦「しもきた」が21日、同基地を出発。陸自の大型輸送ヘリCH47など6機、車両8台のほか食糧約250トンや医薬品約3トンの支援物資などをパキスタンに輸送しました。

「しもきた」は現地では、陸上、航空自衛隊とともに物資輸送を中心に救援活動に当たり、11月9日、無事に呉基地に帰港しました。



関門海峡機雷爆破処理

11月3日、海上自衛隊下関基地隊は、下関市満珠島南約1.5km沖の関門航路中央水道浚渫工事に伴う潜水探査で発見された不発弾（米国製機雷1発、旧日本軍砲弾8発、いずれも推定）を水中爆破処理しました。

当日は、同基地所属の掃海艇「とよしま」と「うくしま」が出動。水中処分員による処理作業の後、午前10時に爆破され、高さ10mの水柱が上がりました。

関門海峡には太平洋戦争中に多くの機雷が敷設され、現在でも年間に数回不発弾が見つかり、処理されています。



松山港爆弾爆破処理

11月25日、海上自衛隊呉地方総監部水中処分隊は、松山市松山港外港地区の浚渫工事前の磁気探査で発見された不発弾（旧軍の99式250kg爆弾5発、15cm砲弾2発、弾倉2箱）を水中爆破処理しました。

当日は、午前7時から水中処分員が爆発物に起爆装置と導火線を結びつけるなどの処理作業の後、午前11時35分に爆破され、高さ60mと30mの水柱が上がりました。

終戦から65年がたちますが、愛媛県では初めての水中爆破処理でした。

岩国基地で開催 局長、市長が説明

セーフティブリーフィング

11月22日、米海兵隊岩国航空基地主催による「セーフティブリーフィング」が基地内のサクラホールで開催され、辰己中国四国防衛局長及び福田岩国市長が、約1000人の海兵隊員に英語でブリーフィングを行いました。中国四国防衛局と岩国市が共にブリーフィングを行うのは昨年に続き2回目です。

セーフティブリーフィングは、主に夏や冬の長期休暇などを前に基地に所属するすべての隊員を対象に安全意識の向上を図るために行われています。

開催に当たってスチュワート基地司令官は「アメリカの町の中に他国の軍隊の基地があったら、隊員が法に従うよう期待する。岩国の人たちも同じだ」と述べました。

辰己局長は、海兵隊員に岩国基地の安全保障上の重要性、米軍構成員による事件・事故等が発生した場合の地域社会に与える影響とその防止の必要性などについて説明しました。

一方、福田市長からは、岩国市における基地問題の実情や市の基本スタンス、事件・事故等が発生した場合の影響とその防止の必要性や、市内の主な観光地、イベントを紹介し市民との交流活動が促進されることを期待している旨の説明がありました。



スチュワート基地司令官



辰己局長



福田岩国市長



中国地区危機管理連絡会同

国民保護訓練のあり方について

11月19日、広島県にある海田市駐屯地において、中国地区各県の危機管理監や陸・海・空自衛隊、地方協力本部及び地方防衛局が参加し、防災（災害派遣）及び国民保護等に関して、相互理解の促進を図り、更なる連携の強化により今後の業務の円滑化に資するための連絡会同が開催されました。

当日は、本年1月にハイチで発生した大地震に際し、国際緊急援助隊として13旅団から派遣された部隊の活動報告等の説明のほか、武力攻撃事態が発生したことを想定し、自衛隊の展開地域内に取り残された住民を後方の避難地域まで誘導、その後、広島県のDMATと医療班が連携して医療処置を実施する訓練などの見学や意見交換、医療分会が行われました。



* 駐留軍従業員永年勤続表彰 *

米海兵隊岩国航空基地及び米陸軍秋月弾薬廠に勤務し勤続30年、20年及び10年を迎えた75名の従業員に対し、主催者の中国四国防衛局長及び各基地司令官から、防衛大臣及び各区軍司令官の連名の表彰状及び記念品を授与する永年勤続者表彰式が行われました。それぞれの会場では、駆けつけた職場の上司や同僚と記念写真をとるなどお祝いムードが漂っていました。

米海兵隊岩国航空基地

10月19日(クラブ岩国：基地内)

岩国基地の表彰式は、主催者として国側から山岡総務部長、米側からコレッタH&H S司令官が、また、来賓として岩国市の白木副市長、井上経済常任委員会委員長及び藤岡山口地区本部委員長が出席され行われました。



表彰を行うコレッタH&H S(左)と山岡総務部長(中)

米陸軍秋月弾薬廠

10月22日(ビューポートくれホテル：呉市)

秋月弾薬廠の表彰式は、主催者として国側から辰己局長、米側からハリス副司令官が、また、来賓として呉市の石田企画部長、東広島市の中野総務部長、江田島市の正井副市長及び武田広島地区本部委員長が出席され行われました。

辰己局長からは「弾薬庫の維持管理は地域の安全保障にとって重要な業務であることを自覚し、今後とも緊張感を持った安全管理のために、それぞれの職責において豊富な知識と経験を生かし一層ご活躍されることを期待します」との挨拶がありました。



表彰を行うハリス副司令官(左)と辰己局長(右)

*** 感謝状の贈呈 ***

大臣感謝状

10月23日(グラントヒル市ヶ谷:東京)
陸上自衛隊高知駐屯地(第2営舎地区)の安定的使用及び同駐屯地(第1営舎地区)、高知演習場(仮称)の開設に当たり、理解と協力をいただき尽力された功績により、高知県香南市長 仙頭 義寛氏に対して、防衛大臣感謝状が贈呈されました。



高知県香南市長 仙頭 義寛氏(左)と北澤防衛大臣(右)



局長感謝状

11月1日(中国四国防衛局)

岩国飛行場水域の安定的使用に寄与され、特に同飛行場沖合移設事業に対する理解と協力をいただき、関係漁業組合等との調整に尽力され、同事業が円滑に実施された功績により、岩国市漁業協同組合代表理事組合長 沖井 勝廣氏に対して、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。



岩国市漁業協同組合 代表理事組合長 沖井 勝廣氏

11月1日(中国四国防衛局)

陸上自衛隊高知駐屯地(第1営舎地区)の開設に当たり、強い責任感と効率的な施工をもって工程の短縮に努め、積極的に周辺住民へ配慮するなどして、部隊開設時期に間に合うよう多大な努力をされた功績により、ジョウトク建設株式会社代表取締役 常徳 和男氏に対して、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。



ジョウトク建設株式会社 代表取締役 常徳 和男氏

自衛隊の創設を記念し、隊員の使命の自覚と士気の高揚をはかり、もつて自衛隊のすぐれた伝統をつちかうとともに、国民の自衛隊に対する理解と信頼を深めるために、毎年11月1日を自衛隊記念日と定めています。

今年も多くの方々にパレード、訓練展示等たくさんの行事を見ていただくことができました。

自衛隊 記念行事

徳島航空基地 9月25日◇快晴の大空で飛行展示を披露 多くの観衆から拍手の連続



松山駐屯地 10月2日◇迫力のある戦闘訓練を披露 ヘリなどの体験搭乗や模擬店なども賑わった



出雲駐屯地 10月3日◇駅前パレードを披露 訪れた観衆から惜しめない喝采を浴びた



米子駐屯地 10月10日◇迫力のある模擬戦を披露 米子がいな万灯でも観客を魅了



小

月航空基地 10月17日◇飛行展示や航空学生によるファンシードリルの演技を披露



日

本原駐屯地 10月23日◇戦車やジープ型の車など約60台が隊列を組んでごう音を響かせた



山

口駐屯地 10月24日◇雨の中迫力のある模擬訓練を披露 和太鼓や高校生によるマーチング演奏も行われた



江

田島第1術科学校 10月30日◇同校と幹部候補生学校の学生約800人が息の合ったパレードを披露



海

田市駐屯地 11月14日◇戦車やヘリなど装備品の一般公開や模擬訓練を披露



川下防災備蓄センター運用開始



岩国市の防災に関する事業に関連し、地域防災計画における物資輸送拠点の施設として、川下地区に岩国市川下防災備蓄センターが完成しました。

本施設は、総工費約7千5百万円のうち、約2千9百万円の再編交付金が使われています。

施設概要

■敷地面積 515.19㎡ ■床面積 332.43㎡

■構造 鉄筋コンクリート造2階建

本施設には保管庫、多目的室、事務室等の施設を有しており、保管庫には非常食、飲料水、救命ボート、毛布、発電機などの備蓄品が保管されています。また、多目的ホールなどは地域住民のコミュニティ活動の場として利用できる施設となっています。



イベント情報

イベント名	日付	場所	お問合せ先
陸上自衛隊第14旅団 第5回定期演奏会	23.1.23 (日)	アルファあなぶき ホール (高松市)	陸上自衛隊第14旅団司令部総務課 TEL0877-62-2311
IWAKUNI日米交流合同コンサート(岩国市立 川下中学校、東中学校、MCペリースクール)	23.1.30 (日)	岩国シンフォニア	中国四国防衛局地方調整課 TEL082-223-7153
防衛省職員採用Ⅱ種試験 業務説明会 (予定)	23.2.23 (水)	広島合同庁舎内	中国四国防衛局総務課人事係 TEL082-223-7105
第45回日米親善錦帯マラソン IN MCAS岩国大会	23.4.17 (日)	米海兵隊 岩国航空基地内	米海兵隊岩国航空基地 MCAS センパ-フィット支課 TEL0827-79-6578、5654 ※申込締切3月4日

今月の写真

広島冬の風物詩である、「ひろしまドリームネーション2010」のイルミネーションです。平和大通りを中心に約130万球の光が街にライトアップされています。



友との船出

幸福への階段

ピース城と平和の鐘